

2 月 28 日(日)の津波による水産関係の被害状況と対応状況について

このことについて、平成 22 年 3 月 8 日(月) 9 時現在の被害状況と対応状況をお知らせします。

1 被害状況

大船渡市など 6 市町において、養殖施設約 3,100 台と水産物の破損・流出等被害が発生。養殖施設と水産物を合わせた現在の被害額は、約 17 億 1 千万円となっている。

被害区分	被害規模	被害額 (千円)	被害状況
養殖施設	3,139 台	599,801	<p>大船渡市：【476 台 119,750 千円】 養殖施設のアンカーロープ切断、アンカー移動、沈没など (ホタテ、カキ、ホヤ)</p> <p>陸前高田市：【1,232 台 281,590 千円】 養殖施設のアンカーロープ切断、アンカー移動、破損など (ホタテ、カキ、イシカゲガイ、ホヤ、ワカメ)</p> <p>釜石市：【521 台 30,030 千円】 養殖施設のアンカー移動、ロープの絡みなど (ホタテ、ホヤ、ワカメ)</p> <p>大槌町：【91 台 52,682 千円】 養殖施設のアンカーロープ切断など (ホタテ、ホヤ、ワカメ、コンブ)</p> <p>宮古市：【577 台 67,759 千円】 養殖施設のロープの絡みなど (ホタテ、カキ、ワカメ、コンブ)</p> <p>山田町：【242 台 47,990 千円】 養殖施設のアンカーロープ切断など (カキ、アワビ)</p>
水産物	-	1,116,956	<p>大船渡市：水産物の落下や損傷、流失 【297,963 千円】 (ホタテ、カキ、ホヤ)</p> <p>陸前高田市：水産物の落下や損傷、流失 【367,650 千円】 (ホタテ、カキ、イシカゲガイ、ホヤ、ワカメ、コンブ)</p> <p>釜石市：水産物の落下や損傷、流失 【126,086 千円】 (ホタテ、ホヤ、ワカメ)</p> <p>大槌町：水産物の落下や損傷、流失 【40,373 千円】 (ホタテ、ワカメ)</p> <p>宮古市：水産物の落下や損傷、流失 【122,384 千円】 (ホタテ、カキ、ワカメ、コンブ)</p> <p>山田町：水産物の落下や損傷、流失 【162,500 千円】 (カキ)</p>
水産施設	6 箇所	調査中	<p>大槌町：養殖資材保管庫のドアが浸水により損傷(1 箇所) ：ワカメ、コンブ等の水産加工施設の冷凍庫や冷蔵庫等が 浸水により故障、シャッターの破損等(4 箇所)</p> <p>宮古市：カキ作業用小屋のプレハブ物置の横転等(1 箇所)</p>
漁港施設	-	-	被害なし
漁船・漁具	-	-	被害なし
合計	3,139 台 6 箇所	1,716,757	調査進度 79%

(対応状況については、裏面のとおり)

担当：農林水産企画室 佐藤(5623)

2 これまでの対応

各地方振興局（水産部）の対応

- ・ 大津波警報発令に伴い市町村、漁協に対する情報収集等体制整備（2月28日）
- ・ 被災した漁業者に対する相談窓口の整備（2月28日）

施設復旧指導

津波被害発生後、市町村、漁協と連携し、被害状況調査及び現地指導を実施。（佐々木水産担当技監が、3月2日、広田湾、大槌湾、山田湾の現地被害を調査）

- ・ ワカメ、コンブ
絡んだ養殖施設のロープは解き、切断されたものは繋ぐなどの施設復旧に努め、生産量を最大限確保できるよう漁業者を指導。
- ・ ホタテ、カキ、ホヤ
養殖施設から生産物が海底に落下しないよう慎重に施設を復旧し、生産量を最大限確保できるよう漁業者を指導。

漁業共済補償金の支払要請

補償金が漁業者に速やかに支払われるよう、岩手県漁業共済組合に要請（3月3日）

ワカメ、カキ等の生産物及び養殖施設被害について、漁業共済に加入している漁業者にあつては、津波被害によって平年より生産額が減少した場合、共済組合から補償金が支払われる。（通常、生産物共済補償金は漁期終了後に、また、養殖施設については被害額確定後に支払。）

県内の金融機関へ資金の円滑な融通を要請

被害を受けた漁業者等が、その経営等に支障を来たすことことが懸念されることから、養殖施設の再整備や運転資金等の円滑な融通について、県内に本支店を有する27金融機関に対し文書で要請（3月3日）

融資相談窓口の設置及び特別融資の実施

- ・ 日本政策金融公庫は、3月2日、津波で被災した水産業者の融資相談のための窓口を設置。
 - ・ 岩手銀行は、3月2日、被災企業又は個人事業主に対する低利の運転資金と設備資金の融資を開始（6月30日まで）。
- 北日本銀行と東北銀行も、3月3日、同様の特別ローンを開始（6月30日まで）。

岩手県水産関係災害対策会議の開催

津波災害の水産被害等の情報共有や、施設復興対策等の検討を行うため、県と水産関係団体で対策会議を設置。第1回対策会議を3月4日（木）に開催。

構成団体：岩手県漁業協同組合連合会、岩手県信用漁業協同組合連合会、岩手県漁業共済組合、岩手県漁船保険組合、岩手県漁業信用基金協会、全国共済水産業協同組合連合会、岩手県

3 今後の対応

施設復興対策等の検討

岩手県水産関係災害対策会議において、各関係団体の被害対策等の情報共有を図るとともに、施設の復興支援などの具体的な対策について検討する。

施設の復興支援

強い水産業づくり交付金（国庫）や県単補助事業（水産経営活性化対策事業、地域営漁計画推進特別対策事業）により、災害に強い養殖施設の整備を支援。

経営再建に必要な制度資金の活用

養殖施設の再整備や運転資金等に対する低利の制度資金の活用促進。

- ・ 漁業近代化資金による種苗等の購入への対応
- ・ 農林漁業施設資金による養殖施設の再整備への対応
- ・ 農林漁業セーフティネット資金による当面の運転資金への対応

漁業者に対する共済加入の促進

漁業者に対する加入説明会（漁業共済組合主催）に県も参加し、漁業者の共済加入を促進。